

参加型総合計画支援 ご提案書

HRT 代表取締役 大川恒

HRT 主任研究官

関東学院大学経済学部教授 大住莊四郎





ご提案内容

- ◆ ポジティブ/ホールシステムアプローチを核にした参加型総合計画策定プロセスをデザインします。
- ◆ ワールドカフェをはじめとした主な手法の実施と定着を支援します。
- ◆ つぎの成果が期待されます。
 - 主体性・自律性に基づく内発的な参加・協働が実現
 - 潜在的な可能性・強みに基づく都市・地域価値の形成



1. 支援概要

◆ 支援テーマ

- ポジティブ/ホールシステム・アプローチを活用した参加・協働型総合計画策定プロセスのデザイン・実施支援

◆ 目的

- 地方分権改革の進展とともに、地域の特長を活かしたまちづくりや地域の再生・発展が期待されるとともに、地域やコミュニティのパワー(潜在力)を発揮させた公共サービスの設計・提供が求められています。
- これらを設計し、実現できる総合計画策定プロセスの設計と実施をポジティブ/ホールシステムアプローチを核に強力にサポートします。

◆ 特長

- 総合計画策定プロセスをポジティブ・サイクルでデザインします。
- これにより、主体性・自律性に基づく創造的な対話や協働が実現します。
- 同時に、市民価値や地域価値の共創が実現します。



2. 総合計画策定のニーズに対応

策定方針に沿ったプロセスをデザインします



基本構想

基本計画

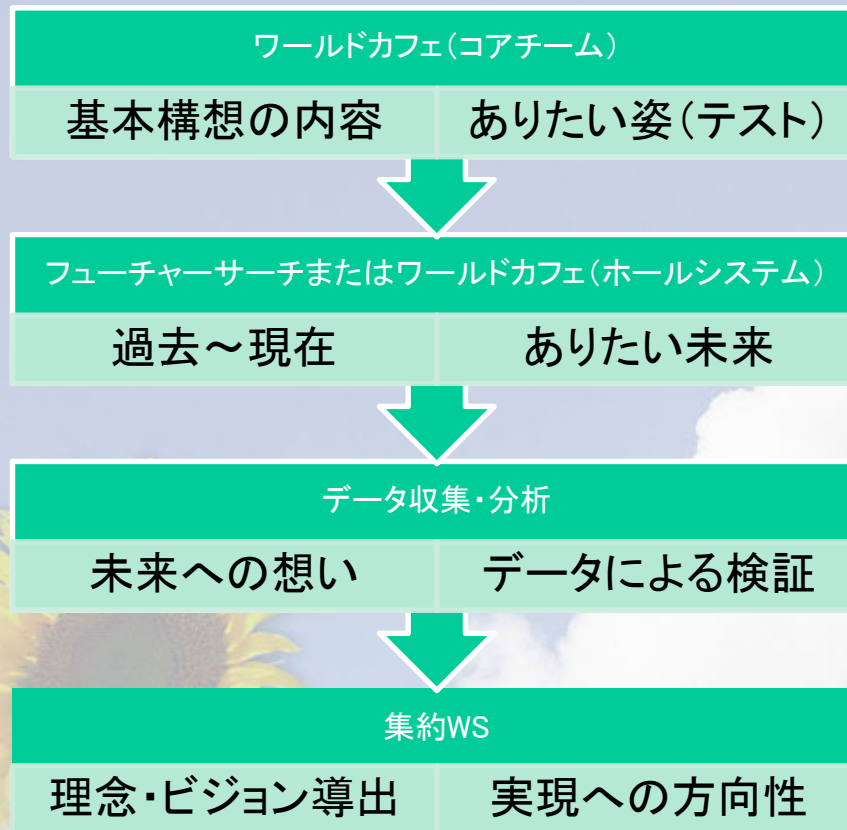
実施計画

- ・ 基本構想では？
 - トップダウン
 - 職員(市民)参加型
- ・ 基本計画では？
 - 職員主導型
 - 市民協働型
- ・ 実施計画では？
 - 戦略的事業形成
 - 協働型事業形成

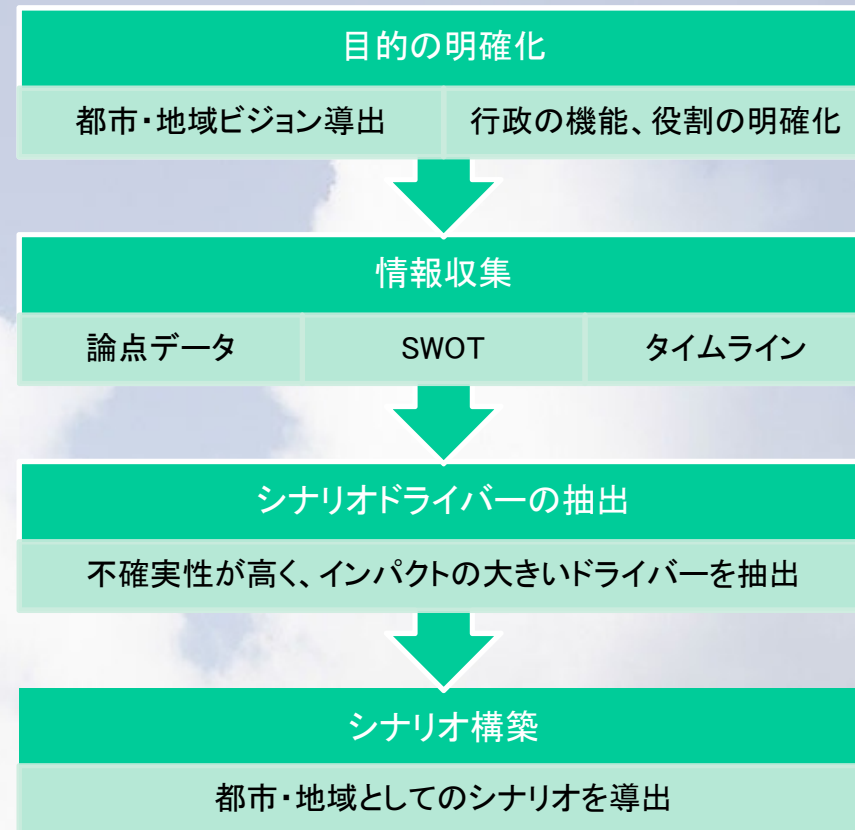
3. 基本構想づくり(二つのアプローチ)



ホールシステムアプローチで
(ワールドカフェを核に)



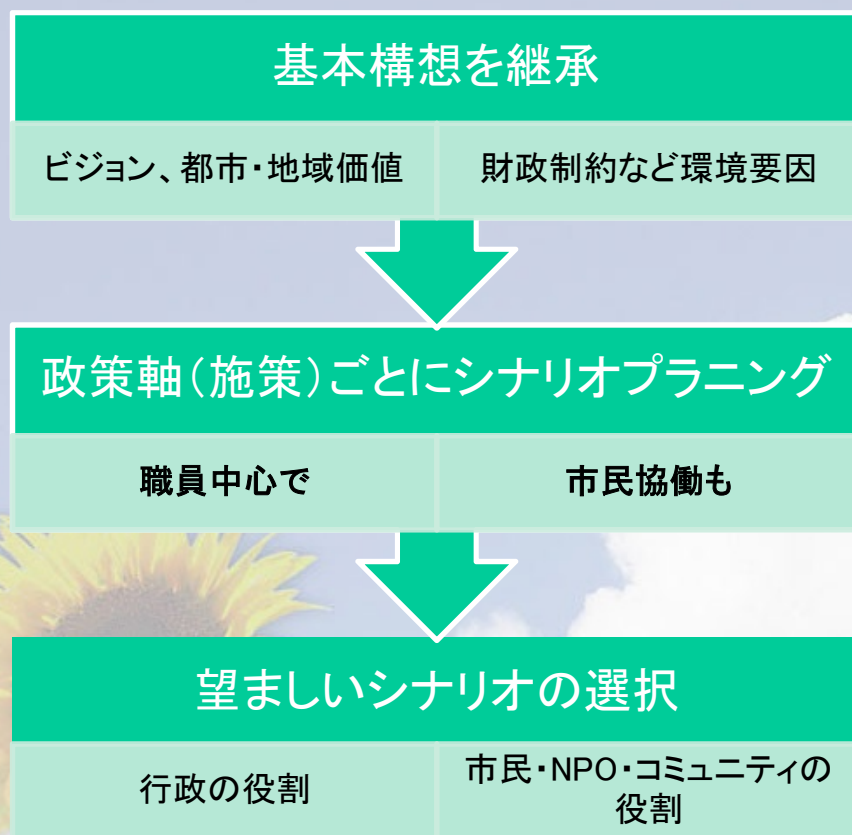
プロジェクトチームで
(シナリオプランニングを核に)





4. 基本計画策定

シナリオプランニングを核に
(職員主導or市民協働)



AIなどを活用も
(重要で深刻な政策課題)

重要な政策課題
(中心市街地?)

チェンジアジェンダを
プラットフォームに

職員・関係者が一堂
に会して

ポジティブなサイク
ルへのせる



5. 地区別計画づくりでも

ポジティブ・アプロ
ーチを適用

- ・ AIインタビュー
- ・ ワールドカフェ

個別ワークショッ
プの支援

- ・ 対話の場づくり
- ・ ファシリテー
ション

地区計画を集約

- ・ 基本計画への
集約
- ・ 実施計画への
連携

- ・ 総合計画においても地区別計画を策定するケースが増えています
- ・ まちづくり協議会などとの連携しながら、地区別計画でも、主体性・創造性あふれるものにします

HRT/OHSUMI All Rights Reserved

6. 実施計画づくりは？



ビジョン・理念

首長

戦略性と経済
性確保

協働

地域価値・市
民価値の実
現

職員

市民

政策軸・施策ごとに戦略的事業の立案・実施

基本計画策定プロセスを活かしながら、具体的な実施計画事業は、政策軸・施策ごとに、策定方法を検討します

協働型事業については、市民ワークショップを主体に事業案を導出します

担当の紹介

大川 恒

mail@infohrt.com

HRT 代表 (<http://www.infohrt.com/>)

日経ビジネススクール講師

ワールド・カフェ・コミュニティ・ジャパン(WCJ) 代表



1961年北海道生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。シカゴ大学経営大学院でMBAを取得。国内独立系コンサルティングファーム、日系人材開発研修会社、米系人材開発機関で、企業理念の構築、組織変革に関するコンサルティング業務、さらには、リーダーシップスキル

(ファシリテーション、チームビルディングなど)の研修実施とプログラム開発など様々な経験を積む。現在、以下のようなワークショップ、セミナーを組み込んだ以下のような共創型コンサルティングを展開している。

「ワールド・カフェ・ファシリテーター養成講座」「ビジョン構築ワークショップ」「セルフマスタリー・ワークショップ」「チームビルディング・ワークショップ」「システムシンキング・セミナー」

◆ ダイアログ、ホールシステム・アプローチ(AI、OST、ワールド・カフェ、フューチャーサーチ)、システムシンキングを使った組織開発コンサルティング

◆ 学習する組織構築のための組織変革コンサルティング

共著に『ワールド・カフェをやろう』『ホールシステム・アプローチ』(日本経済新聞出版社)、『決めない会議』(ビジネス社)、などがある。

HRT/OKSUM All Rights Reserved

担当者 プロフィール

大住 莊四郎



HRT 主任研究官
関東学院大学経済学部教授
NPO法人NPM推進ネットワーク理事長、
NPO法人日本アクションラーニング協会副理事長、

<経歴> 1961年徳島県生まれ。京都大学法学部卒業、大阪大学博士(国際公共政策)。神戸大学経済学部助教授、新潟大学経済学部教授を経て現職。厚生労働省厚生科学審議会臨時委員、公共経営が専門。公共組織や地域開発で実績。「イマジンヨコハマ」「イマジンまつど」プロジェクトで実績。近年では、ポストモダンの組織開発と戦略論を融合したアプローチの開発と実践に取り組む。

<主な単著>

『ポストモダンの組織・地域開発』(株)日本評論社、2012年

『行政マネジメント』(ミネルヴァ書房)

『NPMによる経営革新: WillとSkillの統合モデル』(学陽書房)

『NPMによる行政革命: 経営改革モデルの構築と実践』(日本評論社)

『パブリック・マネジメント: 戦略行政への理論と実践』(日本評論社)

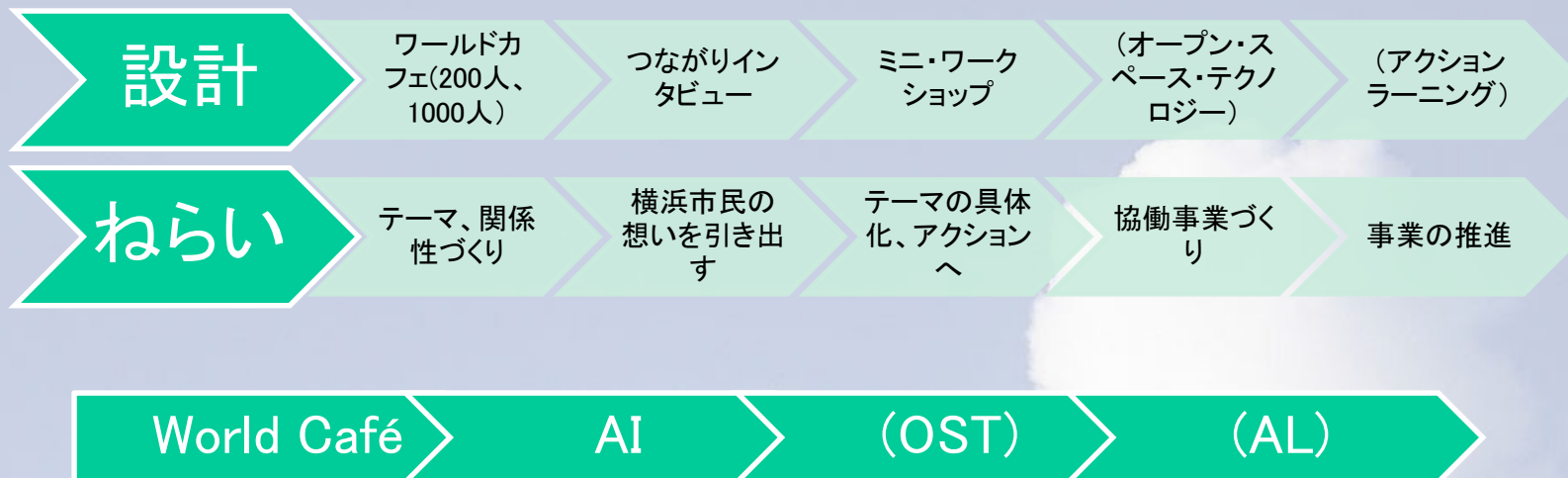
『ニュー・パブリック・マネジメント: 理念・ビジョン・戦略』(日本評論社)



国内の実践例

イマジン・ヨコハマ(都市ブランドづくり)

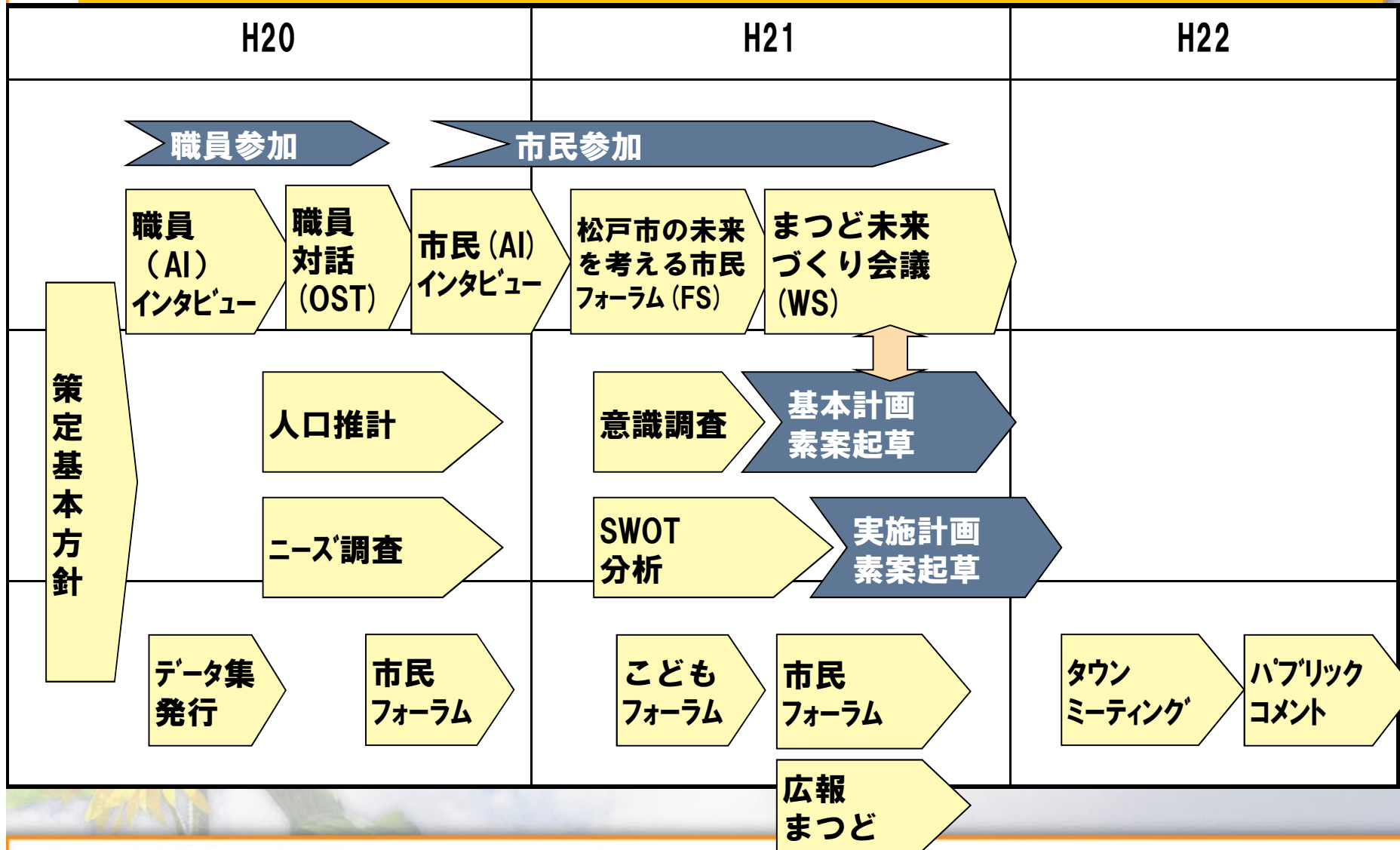
imagine YOKOHAMA



- ・ 都市ブランド共創プロジェクト「imagine YOKOHAMA」: 横浜市の「都市ブランド」を市民のみなさんの思いと力を頼りに作っていくプロジェクト
- ・ ポジティブアプローチによる設計

<http://imagine-yokohama.jp/about/about.html>

イマジンまつど(基本計画づくり)



ご参考





ポジティブアプローチとは？

- ・ 組織や人の潜在的価値や強みにフォーカスし、それらの連携により新たな成果を生み出したり、ありたい姿を描き共有することを通じて、新たな価値、目標、アクションを導く方法。
- ・ 多くは、参加型アプローチなので、ホールシステムアプローチでもある。

ギャップ・アプローチ
(問題解決アプローチ)
あるべき基準が外側からくる

ポジティブ・アプローチ
ありたい状態が内側から出てくる

問題を特定化する

強み・価値を発見する

原因を分析する

どうありたいか、最大の可能性を描く

解決方法を検討する

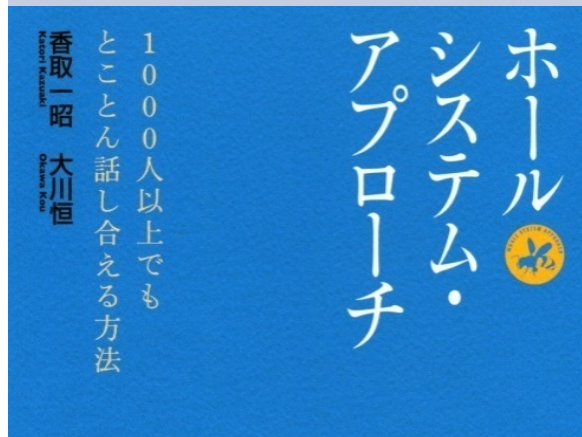
現実的達成状態を共有する

アクション・プランを作成する

新しい取り組みを始める



ホールシステム・アプローチ



➤ 特定の課題やテーマにかかわるすべてのステーク・ホルダーまたはその代表者たちが一堂に集まって話し合い、全体の文脈を共有しながら、創造的な意思決定やアクションプランを生成する方法論の総称



➤ 代表的な手法として、AI/OST/Future Search/World Caféなど

ワールド・カフェ



- ・ワールド・カフェは、メンバーの組み合わせを変えながら、4～5人単位の小グループで話し合いを続けることにより、あたかも参加者全員が話し合っているような効果が得られる会話の手法です。
- ・ワールド・カフェでの話し合いでは、その名が示すようにカフェのような、リラックスした肩の凝らない雰囲気ができやすいことから、プロジェクトやチームの様々な利害関係者の新しい関係作りを進めていきたい場合などに使われることが多いようです。
- ・参加者数は、最低16人ですが、規模が大きくなっても対応可能で、1,000人以上の参加者によるワールド・カフェも行われています。ワールド・カフェは最低2～3時間程度あれば実施可能だという手軽さや、プロセスが比較的単純で、進行をリードすることが決して難しいなどの利点があります。

ワールド・
カフェ
をやろう！



会話がつながり、
世界が広がる

香取一昭 大川恒

ふと出た言葉の波紋から
新しい未来が始まる!!

分断の文化からつながりの文化へ。
初対面でも会社の人同士でも、
まるでカフェにいるかのように
場が盛り上がる。
地域起こしや企業の現場で、
今静かなブーム続く
画期的会話手法を徹底ガイド。



日本経済新聞出版社 定価(本体1,600円+税)